

活動報告

団体名	社会福祉法人 大桑村社会福祉協議会
活動名	令和元年台風 19 号災害 長野市北部ボランティアバスパック事業
活動期間	2019/11/05 ～ 2019/12/13
活動の成果	<p>大規模な浸水被害に遭った長野市北部地域に対しボランティアバスパックを計画したところ延べ16名の方から参加希望があり、長野市北部災害ボランティアセンターを介し被災世帯へのボランティア派遣を計4回実施することができた。各回で派遣先や作業内容が異なり特定の対象者への継続支援を行うことはできなかったが、派遣先では大桑村の元気な高齢者を中心にボランティア活動を実施することができた。本会は長野県内の社協ではあるものの長野市まで車で片道3時間あまりかかるため、個人ではボランティアに参加しにくいという状況があった。ボランティアバスパックを計画することで「一人では行けないけれど仲間と一緒になら行ってみたい」という意欲喚起につながったことが本事業の一番大きな効果だった。参加者からは「微力であったが少しでもお役に立ててよかった」、「まだまだ片付かないお宅もたくさんあるのでこれからも支援が必要だと思う」、「これから寒い時期になってからのことが心配」と、派遣先の住民の気持ちを思い、心配した感想をいただいた。本会でボランティアバスパックを計画するのは今回が初めてのことで、派遣先でどのような活動に繋がるのかわからないままながら派遣先では災害ボランティア経験のあるスタッフを中心に資機材準備や連絡調整ができたため、事故なく活動を終えることができた。今回の取り組みだけでなく大桑村を含む木曽地域の地域住民がさらに防災意識を高めることが今後の課題となる。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>大桑村は高齢化率42%を超える人口3700人あまりの小さな山村です。今回の参加者16名のほとんどが高齢者であり「自分の村は自分たちで守る」という気概にあふれた元気な高齢者ばかりでした。様々な苦勞をしてきた経験があるからこそ、今回の災害も他人事ではないという意識で参加していただいたと感じています。本事業には、みなさんからいただいた寄付金の一部を活用させていただきます。「一人では行けないけれど仲間とならできる」という意欲に繋げていただいたことに感謝申し上げます。</p>

(活動のようす)

